

取扱説明書

オートフィードシュレッダー 80枚 400-PSD026



デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標または商標登録です。

サンワサプライ株式会社

はじめに

目次

このたびは弊社オートフィードシュレッダーをお買い求めいただき、
ありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

1・ 内容物の確認	1
2・ ご使用上の注意	2
3・ 各部の名称と働き	5
4・ ご使用の前に	7
細断不可アイテム	7
細断能力	8
インターロックスイッチ	8
5・ ご使用方法	9
オートフィードモード	10
ノーマルモード(手差し細断)	12
紙詰まりを起こした時	13
6・ ゴミを捨てる時	15
7・ お手入れ方法	16
フィードローラーのクリーニング	17
カッターのメンテナンス	17
8・ こんな時は	18
9・ 製品仕様	20
保証とサービス(保証書添付)	

お客様へ

★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での
使用は絶対にしないでください。

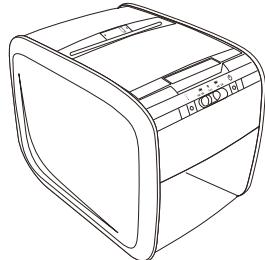
また使用後は必ず主電源スイッチを切り、電源プラグも抜いてください。

★本機は製造途中において細断テストを含む製品検査を実施しております。
細断テストの後、細断くずの除去を行っておりますが、カッターなどに
付着した細断くずが輸送途中の振動などにより落下し、くず箱や本体に
残っている場合があります、あらかじめご了承ください。

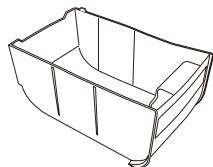
1・内容物の確認

下記のとおり、本体および付属品が同梱されています。

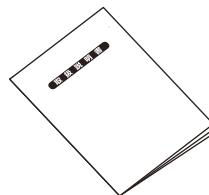
マシン本体



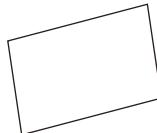
ダストボックス



取扱説明書（保証書付き）



シュレッダ使用時の注意書き



※お手元に置いてご使用になる
ことをお勧めします。

2・ご使用上の注意

表示の意味



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

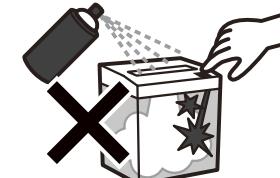


注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告



絶対に可燃性のスプレー式潤滑剤を
シュレッダ機構部に噴霧したり、
エアゾールを紙投入口から
噴霧しないでください。

シュレッダの紙投入口、カッター部、ダストボックス等にスプレー噴霧した場合、シュレッダ内部に可燃性ガスが滞留し、シュレッダのON-OFFスイッチの切り替え接点の火花、静電気の火花、内部モーター整流子の火花等に引火して、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。
機械の清掃や機構部の注油が必要な場合は、取扱説明書をご覧になるか、弊社にお問い合わせの上、危険のない正しいやり方で行ってください。
(万一、事故が発生し、火傷を負った場合は、すぐに患部を氷水等で冷やしてから医師の手当を出来るだけ早く受けてください。)



お手入れの際に可燃性スプレーを使用しないでください。内部にガスがたまり、引火の危険性があります。



危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。
※マシン内部にカッターがあり、けがをする恐れがあります。



危険ですので、カッター部には手を触れないでください。また、投入口や排出口には指を入れないでください。
※マシン内部にカッターがあり、けがをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・衣類が引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になる恐れがあります。
万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まれなかつた部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転作動させて引き込まれたものを取り除いてください。引き込まれたまま電源を切らずに、逆転作動させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けください。

⚠ 注意



髪が引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になる恐れがあります。

万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まれなかった部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転作動させて引き込まれたものを取り除いてください。引き込まれたまま電源を切らずに、逆転作動させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けてください。



濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。



本機はCARD(プラスチック製カードのみ)と紙類の細断専用機です。
他の目的に使用しないでください。

※故障の原因となります。

★OHPシート・カーボン紙・ノンカーボン紙・感熱紙・厚紙・通帳の表紙・封筒(糊がついているため)・ポリ袋・布・ビニール・フィルム・ラベル用紙・シールなどの糊の付いたものは細断には適しません。投入しないでください。
★10号・11号針以外のステープル・クリップ・ピン等は必ず取り除いてから投入してください。



ボタン電池は投入しないでください。
※故障の原因となります。



本機は重心が高い位置にありますので、転倒に注意してください。
水平で安定した場所に設置してください。
※けがをする原因になる恐れがあります。

操作中に転倒したときは、必ず電源を切って適切に処理してください。



本機の上に物をのせたり、腰掛けたり、のったりしないでください。
※けがをする原因になる恐れがあります。



冷暖房機のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



ゴミを捨てる時、ご使用にならない時、移動する時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

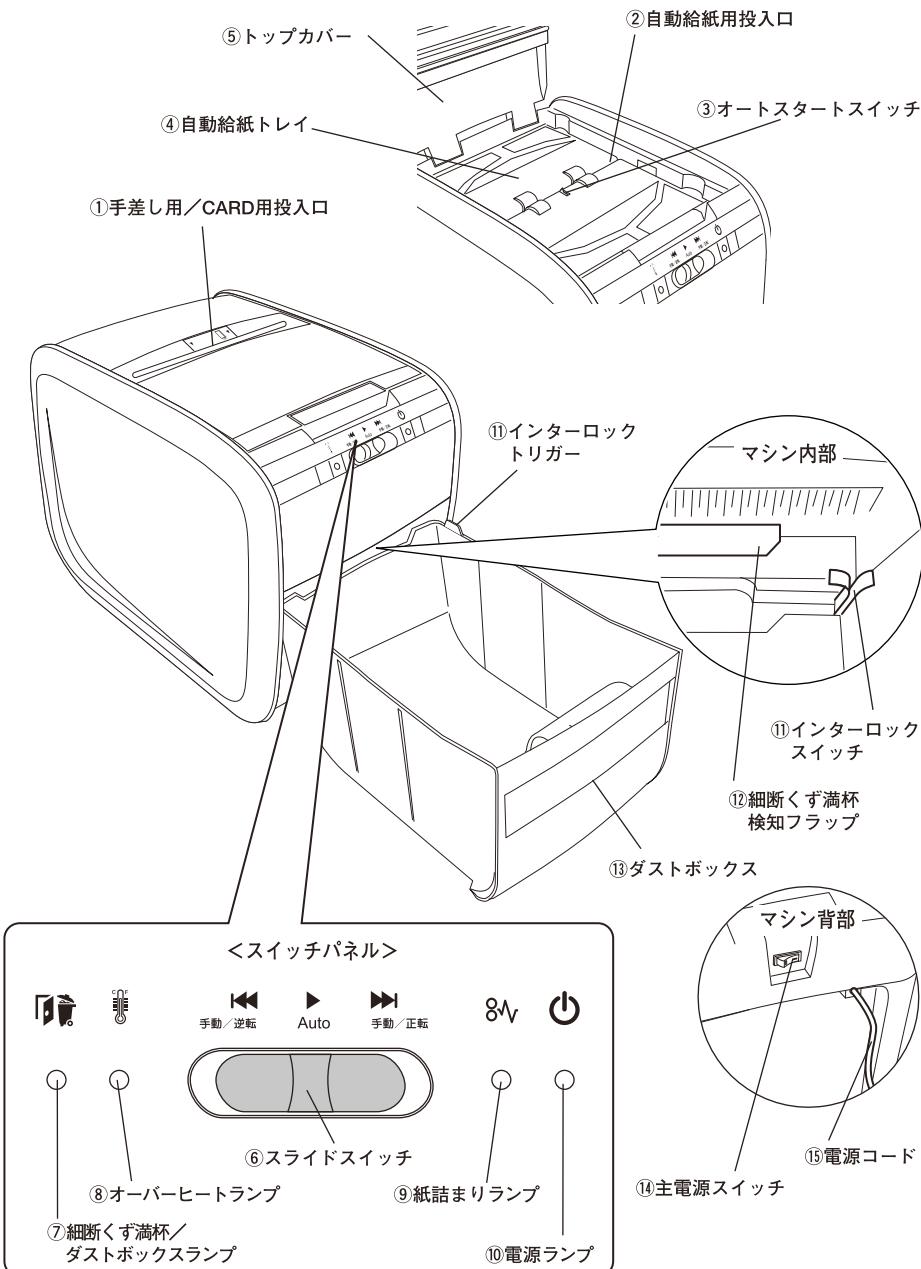


必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、
コンセントの近くにものをおかないでください。



電源は必ずAC100V電源をご使用ください。タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

3・各部の名称と働き



- ① **手差し用/CARD用投入口**
手差し細断(ノーマルモード)時の手差し用投入口です。紙とカード類以外の投入は絶対に避けてください。
- ② **自動給紙用投入口**
自動給紙細断(オートフィードモード)時の投入口です。
- ③ **オートスタートスイッチ**
自動給紙用投入口(手差し用投入口)中央にあるスイッチを細断するものが通過しないと、カッター/モーターは自動正転しません。
- ④ **自動給紙トレイ**
オートフィードモードで細断する場合、細断する紙をこの自動給紙トレイにセットしてください。セットされた紙は自動給紙用投入口に送られ、自動的に細断されます。
- ⑤ **トップカバー**
自動給紙トレイにセットされた紙を押さえます。また、このカバーがしっかりと閉まっていませんと安全のために作動しません。
- ⑥ **スライドスイッチ**
このスイッチを“手動／正転”・“Auto”・“手動／逆転”的位置へ切り換えて使用します。
“Auto”
スライドスイッチを“Auto”的位置にしますと、ノーマルモード(手差し細断)ではオートスタート機能が働き、紙・カード類がオートスタートスイッチを通過することにより自動的に細断できる自動正転モードになります。また、オートフィードモードではトレイにセットされた細断が自動的にスタートします。
“手動／逆転”
スライドスイッチを“手動逆転”的位置にしますと、カッターは逆転作動し続けます。
“手動／正転”
スライドスイッチを“手動正転”的位置にしますと、カッターは正転作動し続けます。
- ⑦ **細断くず満杯/ダストボックスランプ(赤)**
細断くずが満杯になりますと、自動的に停止し、このランプが赤色に点灯して知らせます。ダストボックスのゴミを捨ててください。
また、ダストボックスがしっかり閉まっていませんと、このランプが赤色に点灯して作動しません。ダストボックスを確認してください。
- ⑧ **オーバーヒートランプ(赤)**
連続運転を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置しますと、オーバーヒート防止機能が働き、オーバーヒートランプが赤色に点滅して自動的に停止します。約60分後モーターが冷却され、ランプが消灯して再度使用することができます。
- ⑨ **紙詰まりランプ(赤)**
紙詰まりを起こした場合、紙詰まりランプが赤色に点灯して細断を拒否します。紙詰まりしたものを取り除いてください。
- ⑩ **電源ランプ(青)**
主電源スイッチを押すと電源が入り、このボタン(青)が点灯します。
- ⑪ **インターロックスイッチ/トリガー**
キャビネットにダストボックスがきちんとセットされていない場合は、安全のために本機は作動しません。万一の場合は、ダストボックスを引き出すとモーターは停止しますので、非常停止手段として使用可能です。
- ⑫ **細断くず満杯検知フラップ**
細断くずが満杯になりますと、細断くず満杯検知フラップが働き、自動でカッターが停止します。ダストボックスのくずを捨ててください。
- ⑬ **ダストボックス**
本体にセットしてご利用いただく専用のダストボックスです。
- ⑭ **主電源スイッチ**
マシン背面にある主電源スイッチを押して、電源を入(I)/切(O)にします。主電源スイッチを“入(I)”にしますと、電源ランプ(青)が点灯します。使用しない場合は、必ず電源を切ってください。
- ⑮ **電源コード**
付属の電源コネクターは、必ずAC100Vのコンセントに接続して使用してください。
タコ足配線は避けてください。

4・ご使用の前に

細断不可アイテム

本機はCARD(磁気カード等を除く、プラスチック製カードのみ)と紙類の細断専用機です。下記のものについては細断しないでください。故障の原因となります。

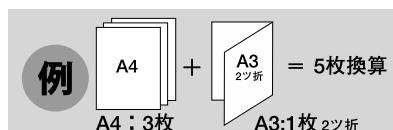
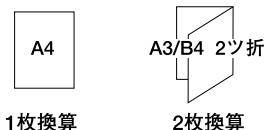


手差し細断(ノーマルモード)時、本機の定格細断枚数は**6枚**(50Hz/60Hz)となっております。

投入口に入らない大きいサイズの紙類を細断する場合はA3・2ツ折にしてください。

その場合、2枚換算となります。

※2ツ折にした紙類はオートフィードモードでは細断できません。



細断能力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の細断枚数を必ず守ってください。

<手差し細断(ノーマルモード)時>

種類	摘要	カットタイプ	最大細断枚数	定格細断枚数
紙類	A 4 (コピー用紙 64g/m ²)	クロスカット (4×45mm)	6枚(50Hz)	6枚(50Hz)
			6枚(60Hz)	6枚(60Hz)
カード類	CARD	クロスカット (4×45mm)	1枚(50Hz)	1枚(50Hz)
			1枚(60Hz)	1枚(60Hz)

<最大給紙可能枚数(オートフィードモード)時>

紙類	コピー用紙 (64g/m ² ~80g/m ²)	クロスカット (4×45mm)	約80枚(50/60Hz)
----	---	-----------------	---------------

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。

最大細断枚数：

10回連続で細断することができる枚数。(64g/m²・A4コピー用紙、細断率90%以上)

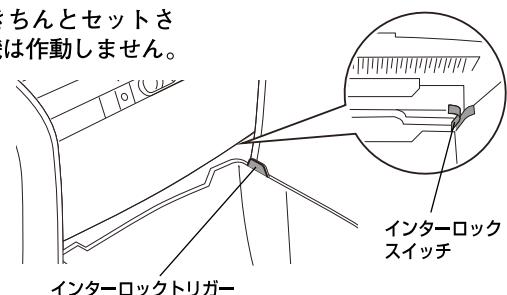
定格細断枚数：

定格時間連続で細断することができる枚数。(64g/m²・A4コピー用紙、細断率90%以上)

警告	
	ネクタイ・ネックレス・髪・衣類が引き込まれないようにしてください。 ※けがをする原因になる恐れがあります。 万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まれなかった部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転作動させて引き込まれたを取り除いてください。引き込まれたまま電源を切らずに、逆転作動させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けてください。

インターロックスイッチ

ダストボックスとキャビネットがきちんとセットされていない場合は、安全のために本機は作動しません。



5・ご使用方法

一オートカットオフ機能一

本機はモーター保護のためオートカットオフ機能が働きます。連続運転(8分以上)を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置しますと、オーバーヒートランプが赤色に点灯し自動的に停止します。この機能が働き本機が停止した時は、必ず電源を切りそのまま冷却してください。
約60分後には再び使用することができます。

一トップカバー／ダストボックススイッチ機能一

本機は安全のため、トップカバーが開いている状態、ダストボックスがセットされていない状態では作動しません。しっかりセットし直してください。

一オートフィードモードとノーマルモード一

オートフィードモードとノーマルモード(手差し細断)を同時に行うことはできません。また、紙類・カード類も同時に細断しないでください。故障の原因となりますので、細断しているものが終了してから細断してください。

一紙詰まり警告機能一

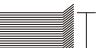
紙詰まりが起こった場合、モーターの過負荷防止のために停止して、紙詰まりランプ(赤)が点灯します。紙詰まり解消した紙を取り除いてください。

ダストボックスの窓の8分目まで細断くずが到達したら、早めにゴミを捨ててください。
巻き込み等故障の原因となります。

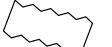
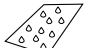
オートフィードモード(自動給紙細断)

一オートフィードできないもの一

下記のものについてはオートフィードモードで細断しないでください。故障の原因となります。

X オートフィード不可事項	対処方法
	☆10・11号針以外のステープルを使用した書類
	☆25枚以上をステープルで綴じた書類
	☆2ヶ所以上ステープルで綴じた書類

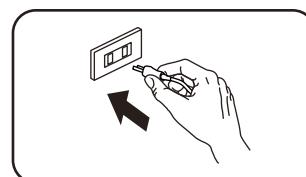
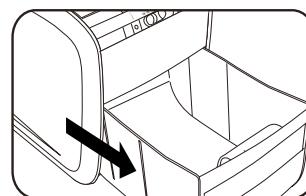
<注意事項>

 — 接入口 —	☆ステープルで綴じた書類を細断する場合 留めた針の隙間が下になるようにセットしてください。	
	☆製本された書類	☆細断できません。
	☆クリップで綴じた書類	☆クリップを外して セットしてください。
	☆雑誌類	☆細断できません。
	☆複数に折った書類	
	☆A5サイズ以下の小さな紙	☆手差し投入で 細断してください。
	☆カード類	
	☆縮れた紙	
	☆湿った紙	☆乾かした後、手差し投入 で細断してください。
	☆封筒書類	
	☆プラスチックシート	
	☆光沢紙・ラミネートした書類・厚紙	
	☆糊のラベル・シール	☆細断できません。
最大給紙可能枚数 (オートフィードトレイ)	コピー用紙 (64g/m ² –80g/m ²)	約80 枚

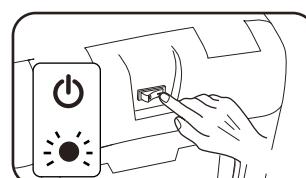
①ダストボックスをキャビネットから引き出し、ゴミを処分して、ダストボックスを空にしてください。

※紙詰まりの原因となりますので、必ずダストボックス内のゴミを処理してからオートフィードモードでの細断をしてください。

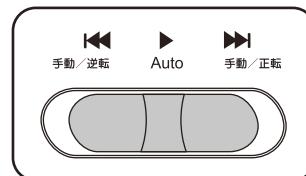
②電源プラグをコンセント(AC 100V)に差し込んでください。



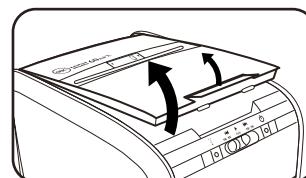
③マシン背面にある主電源スイッチを“入(○)”にしてください。電源ランプ(青)が点灯します。



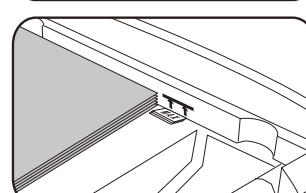
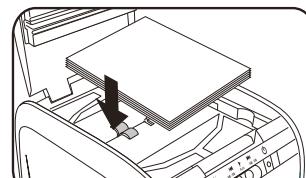
④スライドスイッチを“Auto”的位置にしてください。



⑤中央のハンドルを上げながら、トップカバーを垂直なるまで引き上げてください。



⑥フィードトレイに細断する書類を重ねて置いてください。この時、トレイのからはみ出さないようにセットしてください。

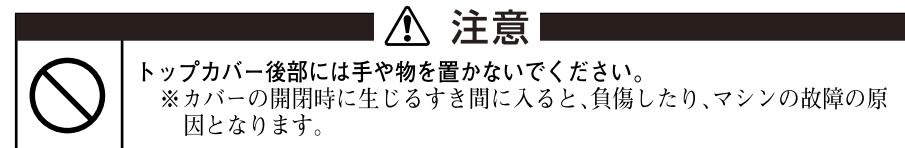
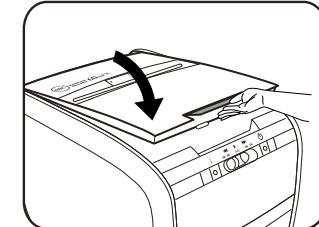


<トレイ最大収納枚数>

※約80枚の書類(コピー用紙 64g/m²~80g/m²)を重ねることができます。トレイ内のガイドを参照してください。

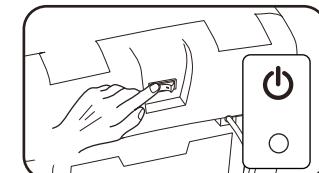
⑦中央のハンドルを持ち上げながら、トップカバーを押してしっかりと閉めてください。トップカバーがしっかりと閉まっていませんと、本機は作動しません。

閉めた後、フィーダーが自動給紙して、細断を開始します。トレイにセットした全ての紙が細断終了しましたら、自動的に停止します。



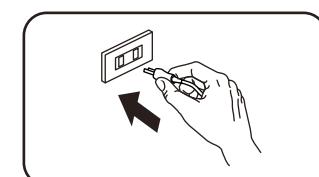
⑧終了しましたら、マシン背面にある主電源スイッチを“切(○)”してください。電源ランプ(青)が消灯します。

その後、コンセントを抜いてください。

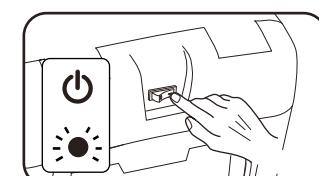


ノーマルモード(手差し細断)

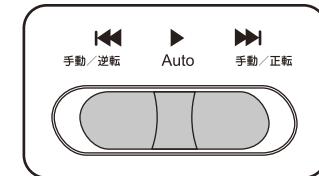
①電源プラグをコンセント(AC 100V)に差し込んでください。



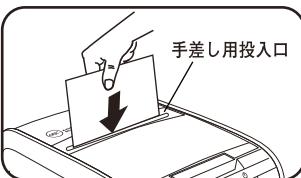
②マシン背面にある主電源スイッチを“入(○)”にしてください。電源ランプ(青)が点灯します。



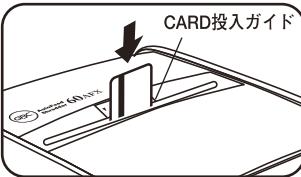
③スライドスイッチを“Auto”的位置にしてください。



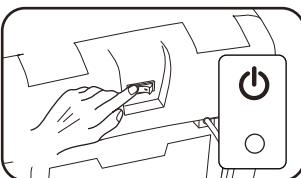
- ④手差し投入口中央にあるオートスタートスイッチを押すようにして、紙を立てた状態で奥深くまで投入してください。
細断が終了しましたら、自動的に停止します。



カード類の細断：
手差し投入口にあるCARD用投入口のガイドに沿って細断するカード類を奥まで差し込んでください。



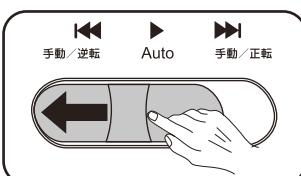
- ⑤終了しましたら、マシン背面にある主電源スイッチを“切(○)”にしてください。電源ランプ(青)が消灯します。
その後、コンセントを抜いてください。



紙詰まりを起こした時（手動逆転モード）

紙詰まりが起きた場合は、スライドスイッチを“手動／逆転”的位置にして、詰まつたものを引き出してください

- ①スライドスイッチを“手動／逆転”的位置にして、カッターを逆転させてください。

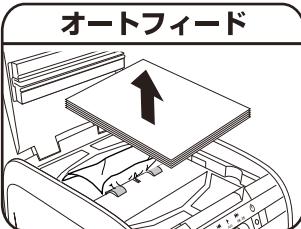


- ②詰まつた紙を引き出してください。

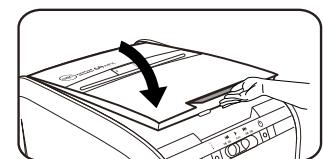
手差し細断時：
スライドスイッチを“手動／逆転”的位置にして、詰まつた紙を引き出してください。



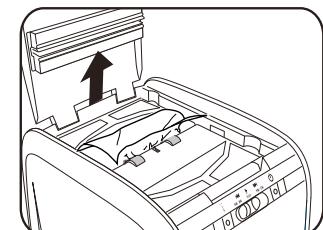
オートフィード時：
トップカバーを開けて、トレイ内の紙詰まりしていない紙を取り除いてください。



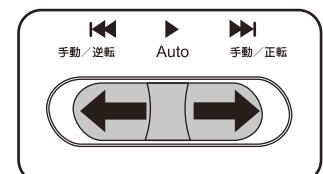
トップカバーをしっかり閉めて、逆転させてください。
トップカバーが閉まっていませんと、手動／逆転させることができません。



再度、トップカバーを開けて、詰まつた紙を引き出してください。

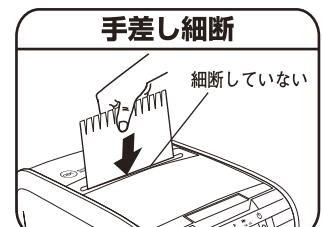


- ③一度の操作で紙詰まりが解消しない場合は、スライドスイッチの位置を“手動／逆転”→“手動／正転”→“手動／逆転”にしてください。

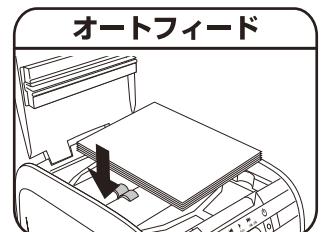


- ④細断し直してください。

手差し細断時：
詰まつた紙の量を減らして、細断していない方向から投入口にまっすぐに入れ細断してください。



オートフィード時：
フィードトレイにセットし直して、細断してください。



注意

モーター保護のため、頻繁に正転⇒逆転を繰り返さないでください。故障の原因となる場合があります。

必ず最大細断枚数を守ってご使用ください。

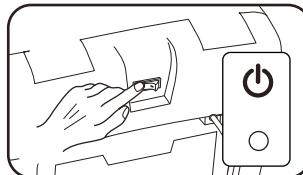
紙詰まりを起こしたまま放置しないでください。
※故障をする原因になる恐れがあります。

6・ゴミを捨てる時

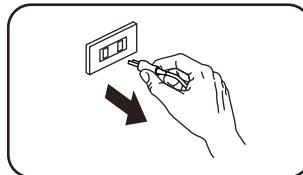
一細断くず満杯検知システムー

本機には、細断くず満杯検知フランプが装備されています。ダストボックスが満杯になりますと、細断くず満杯／ダストボックスランプ(赤)が点灯して、細断くずが満杯であることを知らせ、細断ができなくなります。ダストボックスにたまつたゴミを処分してください。

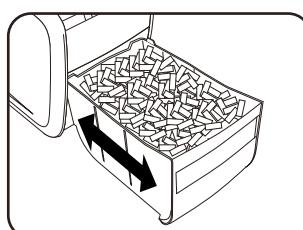
- ①マシン背面にある主電源スイッチを“切(○)”にしてください。電源ランプ(青)が消灯します。



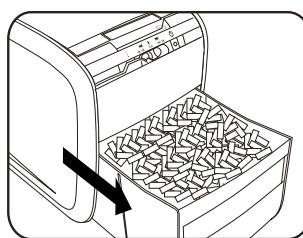
- ②電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。



- ③ダストボックス内のゴミが満杯に近い状態の時は、細断終了後、ダストボックスを前後に揺らしてからダストボックスを取り出すとゴミが均されて外にあふれにくくなります。



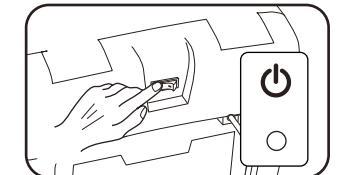
- ④ダストボックスをキャビネットから引き出し、ゴミを処分してください。



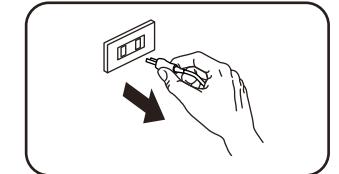
★ゴミを捨てる時に、インターロックスイッチ／トリガーを破損しないようにていねいにお取り扱いください。

7・お手入れ方法

- ①マシン背面にある主電源スイッチを“切(○)”にしてください。電源ランプ(青)が消灯します。

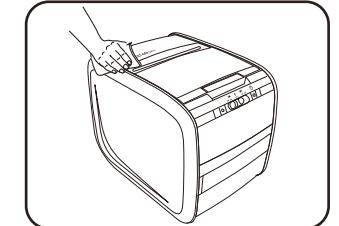


- ②電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。



- ③やわらかい布でから拭きをしてください。

※お手入れはマシン本体の外部樹脂部とキャビネットだけにしてください。



★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。



ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。

※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

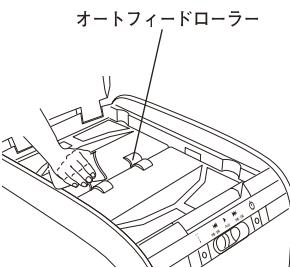


警告

オートフィードローラーのクリーニング

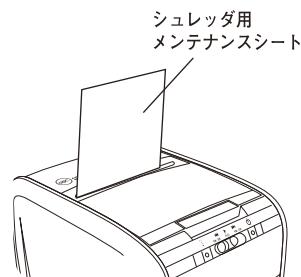
オートフィードトレイ中央に2対のオートフィード用のローラーがあります。長くご使用されておりますと、ホコリの付着等によりオートフィードに支障をきたす場合がございます。

乾いた布でローラーのホコリの付着を落としてください。



カッターのメンテナンス(メンテナンスシート)

カッターの性能を持続するために、シュレッダに投入するだけで簡単に使用できるメンテナンス用潤滑油「シュレッダ用メンテナンスシート(別売)」を利用することをお薦め致します。



8・こんな時は

現象	原因	対処法(参照ページ)
動かない	<ul style="list-style-type: none"> ◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか? ◇電源が入っていますか? ◇トップカバーとダストボックスがしっかりと閉まっていますか? ◇ダストボックスのゴミが満杯にないませんか? 	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。 (11ページ) マシン背面にある主電源スイッチを“入(+)”にしてください。電源ランプ(青)の点灯を確認してください。 (11ページ) 電源ボタンを押してください。電源ボタン(青)の点灯を確認してください。 (11ページ) トップカバーやダストボックスがしっかりと閉まっていませんと、作動しません。奥まできちんとセットしてください。 (8・12ページ) ダストボックスのゴミが満杯になりますと、作動しません。ダストボックスのゴミを捨ててください。 (15ページ)
細断中に止まった	<ul style="list-style-type: none"> ◇紙詰まりしていませんか? ◇オーバーヒートランプが点滅していませんか? 	スライドスイッチを“手動／逆転”的位置にして逆転させ、かみこんだ紙を取り除いてください。 (13・14ページ) 通常の使用を超えて連続細断したり、紙がかみこんだ状態で放置しますと、モーター保護のため自動的に停止します。電源プラグを抜き、約60分冷却してください。再び使用することができます。 (9ページ)
オートフィード細断できない	<ul style="list-style-type: none"> ◇オートフィードトレイに紙が残ってしまう ◇ステープラーで綴じた書類が詰まってしまう 	規定以外の紙厚・細断不可物・オートフィードできないものがあったため紙詰まりが起こりました。紙を取り除いてください。 (10・14ページ) 規定内の枚数(25枚以下)を確認してください。また、ステープル針の下部分(隙間のある側)が下になるようにセットし直してください。 (10ページ)

現象	原因	対処法（参照ページ）
手差し細断できない	◇オートフィードモードで細断中ではありませんか？	オートフィードモードで作動時に、同時に手差し細断することはできません。終了してから手差し細断し直してください。 (9ページ)
	◇紙を多く入れすぎていませんか？	細断できる枚数をご確認ください。紙を取り除き、最大細断枚数以下に分けて分けて細断してください。 (7・8ページ)
	◇細断するものが投入口中央を通過していますか？	投入口中央にあるオートスタートスイッチを通過するように投入してください。 (13ページ)
	◇投入口の奥まで投入していますか？	紙を立てた状態にして投入口の奥深くまで投入してください。 (13ページ)
	◇紙を斜めにして入れていませんか？	スライドスイッチを“手動逆転”的位置にして逆転させ、紙を引き出し、再度まっすぐに投入し直してください。 (13ページ)
ゴミが散らかる	◇ダストボックスがすぐゴミで満杯になってしまいます	細断を開始する前にダストボックスを引き出し、ゴミを処分してください。 オートフィード時には、「最大収納枚数目盛り」を超えないように注意して、紙をセットしてください。 (11ページ)
	◇ゴミを捨てる時、ゴミが溢れて散らかってしまう	細断終了後、ダストボックスを前後に揺らしてから取り出すと、ダストボックス内のゴミが均されて、外に溢れにくくなります。 (15ページ)

9・製品仕様

商品名	オートフィードシュレッダー 80枚	
品番	400-PSD026	
細断物	紙	CARD
投入幅	220 mm (A4)	
細断サイズ	4×45 mm クロスカット	
最大細断枚数	6 枚	1 枚
定格細断枚数	6 枚	1 枚
最大細断給紙枚数	80 枚 ※オートフィード時	
定格運転時間	8分運転	
細断速度	1.5 m/分(50Hz)、1.7 m/分(60Hz)	
サイズ(W) x (D) x (H)	295 × 430 × 395 mm	
質量 kg	8.8 kg	
電源	AC 100 V, 50/60 Hz	
定格消費電力	150 W	

最大細断枚数：

10回連続で細断することができる枚数。(64g/m²・A4コピー用紙、細断率90%以上)

定格細断枚数：

定格時間連続で細断することができる枚数。(64g/m²・A4コピー用紙、細断率90%以上)

定格運転時間：

定格細断枚数を連続して細断できる運転時間です。

保証書

型 番		400-PSD026			
シリアルナンバー					
お 客 様	お名前				
	ご住所	〒			
	TEL				
販 売 店	販売店名・住所・TEL				
担当者名					
保証期間	1年	お買い上げ年月日	年	月	日

※必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

保証規定

1. 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。
万一保証期間内で、故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2. 次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。
(1) 保証書をご掲示いただけない場合。
(2) 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(3) 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
(4) 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
(5) 天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
3. お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は保証期間内の修理をお受け致しかねます。
4. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
5. 本製品の使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証は致しかねます。
6. 本製品は精密機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任を負いかねます。
7. 修理ご依頼品を有そう、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
8. 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
9. 本書は日本国内においてのみ有効です。

----- キリトリ線 -----

本取扱説明書の内容は予告なしに変更になる場合があります

サンワサプライ株式会社

サンワダイレクト／〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-2235680 FAX.086-235-2381